



七福神による招福の舞

貝田宿村まつり 里山の村社で穂りに感謝

貝田宿村まつりが10月8日、旧貝田村の村社・水雲神社で行われ、地区のみなさんをはじめ、多くの人が集まりました。当日はJR主催の小さな旅「秋の貝田宿と御瀧神社を散策」の一行も訪問し、祭りを楽しみました。恒例の芋煮や餅つき、大抽選会なども行われたほか、七福神による招福の舞が披露され、会場は大いに盛り上がり、終始笑いがあふれていました。



記念植樹を行う太田会長ら出席者

未来へと 育て伝える 緑の輪 道の駅で県北地方植樹祭を開催

震災後初めての開催となる県北地方植樹祭が10月14日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。植樹祭では、太田久雄国見町緑化推進委員会長が「今後、さらなる緑化推進や意識の高揚に取り組んでいきます」と式辞を述べた後、太田会長らが国見小学校緑の少年団の児童とともに、道の駅の広場内に3本のもみじを記念植樹しました。



美化作業ありがとうございました

熟練の技で町をきれいに シルバー人材センターが奉仕作業

国見町シルバー人材センターは10月14日、観月台文化センターとJR藤田駅前周辺で清掃奉仕作業を行いました。奉仕作業には、シルバー人材センターの会員33人が参加し、道路や植え込みの草むしりやごみ拾いを行いました。シルバー人材センターでは、毎年10月15日のシルバーの日に合わせて奉仕作業を行っています。



奨励金を手渡された阿部さん（左）と引地さん（右）

国見町青少年育成町民会議 奨励金交付

国見町青少年育成町民会議（太田久雄会長）の奨励金交付式が10月18日、観月台文化センターで行われました。【第44回東北私立高等学校ソフトテニス選手権大会・第34回東北私立高等学校ソフトテニス学校対抗戦出場】引地佑菜（高1）【第22回東北高等学校新人陸上競技選手権大会出場】女子ハンマー投げ・阿部雪那（高1）



得点した選手を迎えるチームメイト（初戦・vs磐梯町）

チーム力で初戦突破！2回戦も意地を見せる 第4回市町村対抗福島県ソフトボール大会

市町村対抗ソフトボール大会1回戦が10月15日、相馬光陽ソフトボール場で行われ、国見町は磐梯町と対戦しました。試合は初回、佐藤勇輝選手の本塁打で先制すると、終盤に打線がつながり12対5でコールド勝ち。続く2回戦は、強豪福島市チームに1対6で惜敗するも、内村忠主将の本塁打で意地を見せ、粘り強い戦いぶりに声援と拍手が送られました。



国見産の果物をPRする佐藤副町長とミススピーチ

国見の秋の味覚をPR みの池田ふるさと祭へ参加

国見町は9月30日、友好交流協定を締結している岐阜県池田町の「第40回みの池田ふるさと祭」に参加しました。ふるさと祭には、佐藤弘利副町長をはじめ、果物生産者、ミススピーチらが参加し、町特産のモモやリンゴ、ブドウなど旬の味覚をPR。国見自慢の果物は「どれも甘くておいしい」と大好評で、買い求める多くの人で賑わいました。



天気にも恵まれて足取りも軽やか

歩いて国見の秋を満喫 秋の町民ウォーキング大会

秋の町民ウォーキング大会が10月1日に行われ、秋晴れの空の下、75人が参加しました。参加者は、スポーツインストラクターから正しい歩き方について講習を受けた後、上野台運動公園を出発。塚野目第1号墳や道の駅国見あつかしの郷を巡り、秋めく国見の自然を満喫しながらウォーキングを楽しみました。



子どもから大人までみんなで盛り上げた運動会

旧校庭に響き渡る声援 小坂地区大運動会を開催

小坂地区スポーツ振興会（佐藤精市会長）主催の小坂地区大運動会が10月1日、旧小坂小学校校庭で開催されました。快晴で絶好の運動会日和となったこの日、運動会には子どもからお年寄りまで幅広い世代のみなさん約250人が参加しました。小学生以下の子どもたちが出場した綱引きでは、家族や地域のみなさんの熱い応援で大いに盛り上がりました。



刈り取った稲を“棒掛け”する児童ら

待ってました！収穫の秋 国見小5年生が稲刈り体験

国見小学校5年生の児童らは10月5日、5月に苗を植えた水田で、成長してたわわに実った稲の収穫を体験しました。収穫作業は、小坂アグリ㈱、JAふくしま未来、伊達農業普及所の職員らの指導のもと行われ、児童らは慣れない手つきでカマを使い、稲を丁寧に刈り取りました。今後、収穫した稲は脱穀して学校に届けられ、児童らが炊飯して味わいます。



シートベルトは大事だね

シートベルトをしめましょう くにみ幼稚園で交通安全教室

国見町交通安全母の会による交通安全教室が10月6日、くにみ幼稚園で行われました。交通安全教室では、紙芝居や着ぐるみでの寸劇を園児らに披露し、シートベルトやチャイルドシートの大切さを伝えました。「車に乗ったら必ずシートベルトをしめてもらいましょう」と呼びかけると、園児らは「はい！」と元気に答えていました。